

小児循環器の若手医師 Young & Beginnerのための教育講演

前置き

小川 俊一，佐地 勉

日本小児循環器学会学術委員会

中澤誠前理事長の時代より，学術委員会では若手循環器医師のための教育について議論を重ねてまいりました．まず，1泊2日程度での集中的教育セミナーの実施を検討しましたが，時間的余裕がないとのことで，手始めとして，学会総会中に2時間ほどの枠を設けていただき，教育講演を行うこととなりました．毎年，临床上重要な疾患を1つずつ取り上げ，内科的および外科的見地より講演をしていただき，10年間ほどでは重要な心疾患を網羅する，さらに日常診療に役立つ内容を毎年いくつか取り上げ，その講演もしていただくという計画を立てました．第1回目として，第40回学術集会の3日目に教育講演を行いました．2004年の学会会長，原田研介先生のご好意により，300人収容可能な広い講演会場をご用意いただきました．学術委員会で相談のうえ，まず第1回目は疾患としてはファロー四徴症を取り上げ，さらに，临床上重要である小児循環器領域の正しい薬剤の使い方として，心不全および不整脈に対する薬物治療を取り上げました．ファロー四徴症は，外科から上村秀樹先生に形態学および外科的観点より，さらに内科から術前・術後の管理について安河内聡先生にご講演いただきました．また，正しい薬剤の使い方を習得してもらうべく，心不全の薬物治療として，最近小児領域でも汎用されているフォスフォジエステラーゼ (PDE) III阻害薬の話山村英司先生に，頻拍性不整脈の薬物治療について中村好秀先生にご講演いただきました．

当日は，若手循環器医師のための教育講演と銘打ったにもかかわらず，多くの豊富なキャリアをお持ちの先生方にもお集まりいただき，立ち見が出るほどの盛況で，学術委員一同驚喜した次第であります．もちろん講演内容の素晴らしさは言うに及ばず，そのうえに，聴衆に思いを伝えようとする演者の先生方の熱意が2時間という時間をあっという間に飲み込んでしまう講演会でありました．

講演会終了後，多くの方々より，ぜひ，講演集を出してくれないかとの要望をいただきました．学術委員会で協議のうえ，日本小児循環器学会雑誌に特集として教育講演の内容を掲載するのがよろしいのではないかと考え，黒澤博身編集委員長にお願いしたところ，ご快諾いただき，本号に掲載される運びとなった次第です．

掲載にあたり，各演者の先生方にご投稿をお願いし，25頁にわたる講演集となりました．2005年の学会総会に間に合わせるべく，著者の先生方にはご多忙にもかかわらず，寸暇を惜しんでご執筆くださり，なんとか2号に掲載されることになりました．2004年の教育講演を聞かれた方はもちろん，聞き逃された方にも，教育講演会での熱気が行間から伝わってくる内容です．今後も，毎年，教育講演が開催されることを期待しますし，その内容を講演集として，引き続き出版していただけるものと確信しております．毎年の講演をおまとめいただければ，小児循環器病学の補助教材として，臨床にお役に立つものと思います．

2005年も，学会会長の石澤瞭先生のご好意により，学術総会の日程の中に教育講演を組み込んでいただきました．若手循環器医師を対象としていますが，小児循環器に興味をお持ちの研修医の先生や，臨床研修を行っている学生，またコメディカルの方々にも，ぜひご参加いただければと考える次第です．

最後に，2004年の講演に際し，若手循環器医師の教育のために惜しめない努力と情熱を捧げてくださった，上村，安河内，山村，中村の4人の演者の先生方，とりわけ，講演会のために，わざわざロンドンより駆けつけてくださいました，上村先生にこの誌上をお借りして心より感謝申し上げます．

別刷請求先：〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5
日本医科大学付属病院小児科 小川 俊一